



日本共産党 高知県議会活動報告ニュース

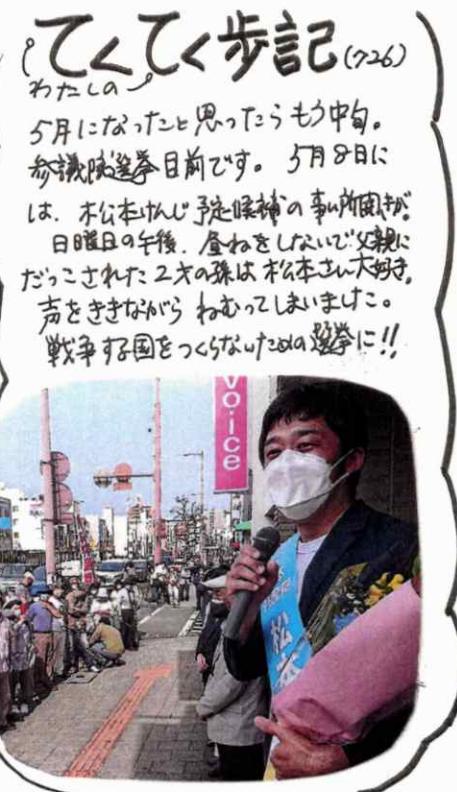
県議会控室 823-9524 高知市丸之内1-2-20
自宅 872-9324 高知市橋井町1475-3

2022.5.15 NO. 729



祝 第93回メーテー
高知県中央集会に
400人参加!!

五月空の1日 県議団もお出で
メーテーの行進に参加なります。
「平和おへつど仕事も商売も、
日常もある。憲法9条を守れ!」
の声もたからかに、日々に語
られた中央集会でした。



てくてく歩記(726)

5月になつたことを思つたらもう中旬。
参議院選挙目前です。5月8日に
は、松本さんと足利さんのが
日曜日の午後、駅前を歩いて父親に
だっこされ、2歳の孫は松本さん大好き。
声をきかねばならぬわいこしまいます。
戦争する国をつくらない選挙に!!

核被災は広島・長崎だけではない。
歴史の真実を学び、行動すべきは今!



核脅威削減へ、若者たちが問題意識を高め、
新しい方法をつくりだす過程について、重要な役割
をはなすことができます。すべての核実験を禁止すること、
核実験禁止条約の早急な発効の重要性の強調を。

国連事務次長
中満 泉さんより
よせられたメッセージです。

漁船員が被災したビキニ事件から68年。「2022年ビキニデー in 高知」(主催・実行委員会)は8日、「核被災を学び、核のない未来へつながろう」を合言葉に全体集会を開催して終りました。

ビキニデー in 高知開会

オープニングは、マクロ漁船員への聞き取り活動をした幡多高校生ゼミの卒業生や大学

生による「世界は一つの島なのだ—ミクロネシア憲法前文」など

の合唱と寸劇です。

「核被災と私と未来」をテーマにしたパネルディスカッションでは、小学校教員と高知大学の学生がパネリストになって、ビキニ労災訴訟原告らへの聞き取り活動の成果などを報告しました。

ある学生は、「歴史

によるウクライナ侵略について「遠い国のこと」と云ふことにするので

なく、「戦争ではなく平和を」という声を

集めつながることが、この戦争を止める力になる」としました。

東京地裁と高知地裁

は教科書で学ぶ過去のものだと思っていたのが、実際に話を聞き、ビキニ事件はまだ終わっていない。自分とかわりをもつものだと

分かり、学び続けた世代にも語り続けた「生きる世代へ」と題して講演しました。

太平洋核被災支援センター事務局長の山下正寿さんが開会あいさつ。全体会に160人、3日間でのべ約300人の参加があったとし、「被災者の証言を次の世代に伝える青年に強調。第3回ビキニデー高知」を来年5月5日から7日まで、マーシャルやパラチンスクなどの人たちとの国際交流も含め計画したいとのべました。

(5月10日付 赤旗しんぶん日刊社より)
— 子真は、パオルディスカッシュンを聞く参加者 —